



BEET 政府認証マフラー

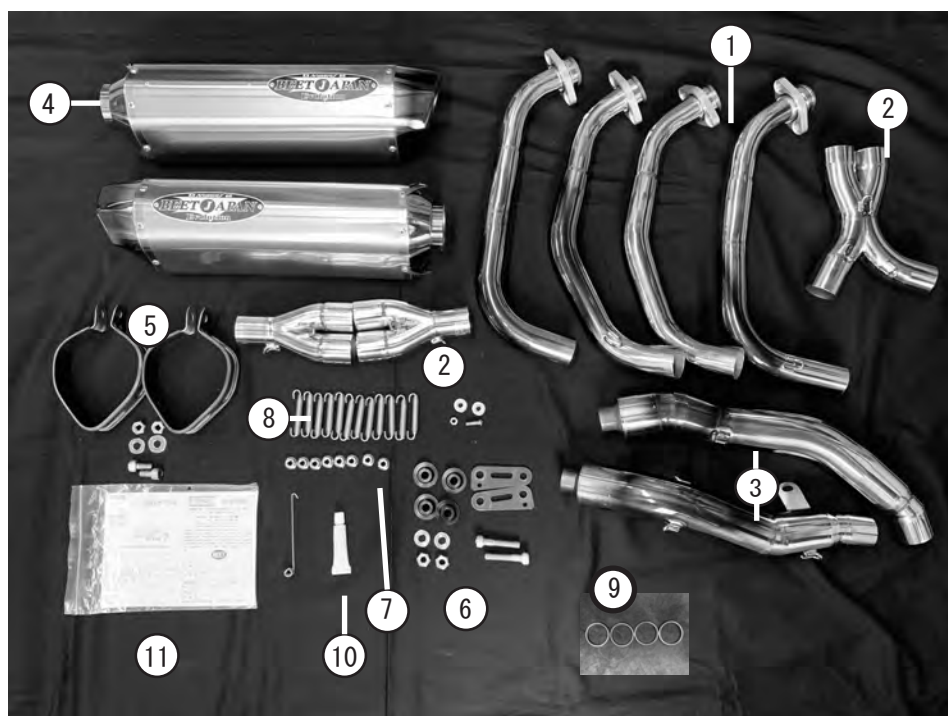
NASSERT Evolution Type II T2
Kawasaki Ninja1000SX ('20)

取扱説明書

⚠ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



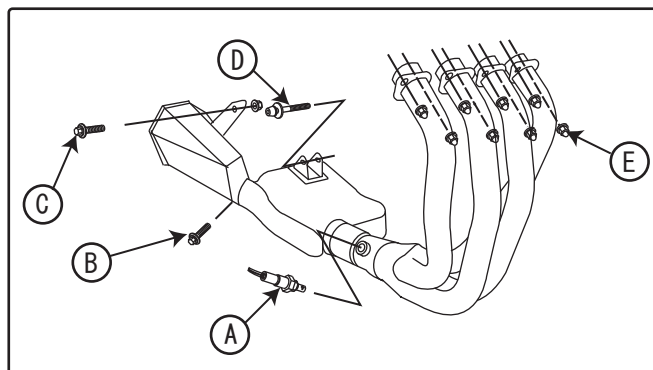
1	エキパイ	7	エキパイ取り付けナット
2	集合部	8	スプリングセット
3	テールパイプ	9	エキパイガスケット
4	サイレンサー	10	耐熱シリコン
5	サイレンサーバンドセット	11	保証書セット
6	サイレンサーステーセット		

I ノーマルマフラーの取り外し



注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。



HINT

ノーマルマフラーは重量が重いのでジャッキ等を使用することをおすすめします。

- 右アンダーカウルを取り外す
- ①O₂センサーを取り外します。
- ②クランプボルトを緩め、 ③ボルトを外しサイレンサーを取り外します。
- マフラー本体下部をジャッキ等で支え④ボルト、 ⑤ナットを外しマフラー本体を取り外します。

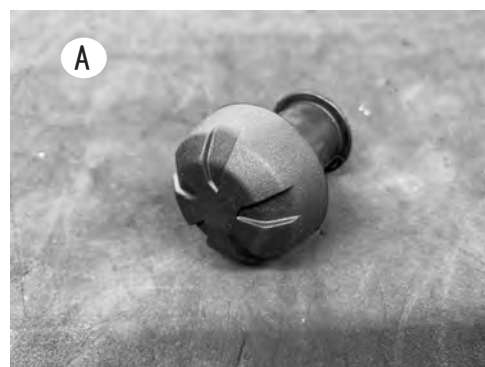
II ナサートマフラーの取り付け準備 (T2 のみ) 1

【Evo II サイレンサーステー取り付け準備 L】

- 左側タンデムステップに付いているラバー①Aを外す。

- 2本出しのみです。

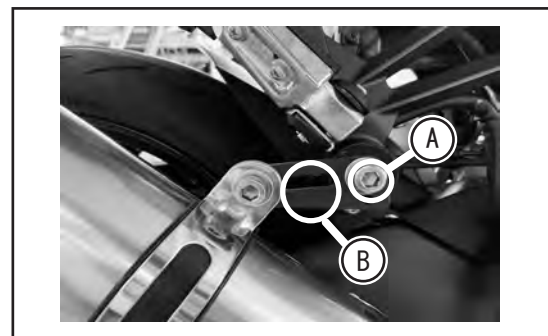
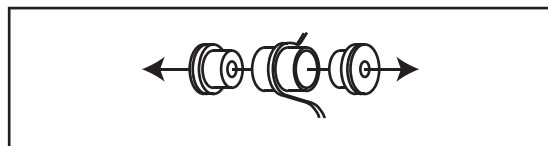
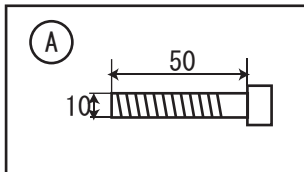
1本出しの場合は次に進んでください。



Ⅱ ナサートマフラーの取り付け準備 2

【 EV0Ⅱサイレンサーステーの取り付け 】

- ノーマルダンパーカラーラバーを取り外し
付属のカラーに付け替える
付属のボルト (A) M10×50, ワッシャー、ロックナット
に交換しステー (B) と共に
車体に取り付け、
仮締めめの状態 (少し動く程度) にしておきます。
2本出しの場合は左右に取り付ける。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

【エキパイの取り付け】

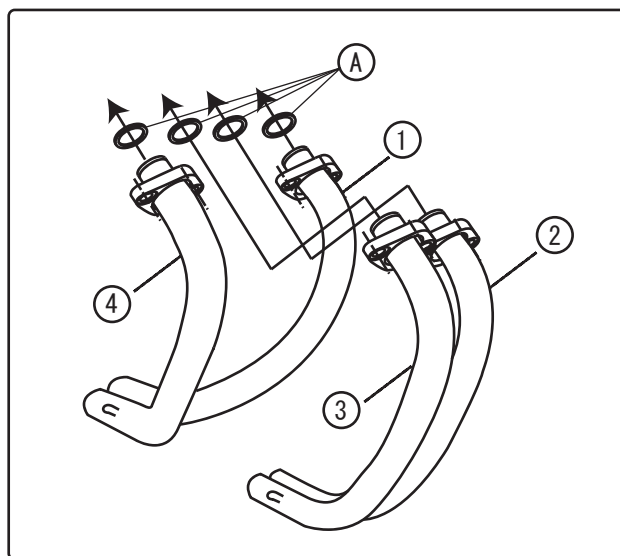
- エキパイガasketを付属 (A) に交換します。

HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと
落下防止になり取り付けやすくな
ります。

- 付属のナットを使って
エキパイ ①② を取り付け
その後 ③④ の順に
取り付けます。

仮止めの状態にしておきます。



	02 センサー 取り付け (補足)	
--	-------------------	--

© Ninja1000、Z1000、Ninja1000SX の NASSERT Evolution Type II フルエキゾーストマフラーの、O2 センサー取付位置が変更となっております。

下記の画像のように、テールパイプから集合部に変更しておりますので、Ninja1000 と Z1000 の場合は、取付説明書の「II 3～4」の集合部組み立て時点で、O2 センサーを取り付けてください。

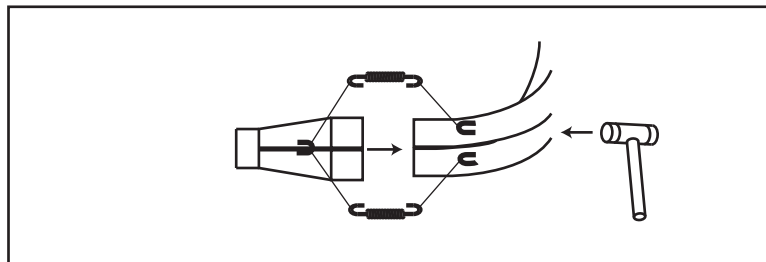
また、Ninja1000SX の場合は、取付説明書の「III ナサートマフラーの取り付け 2」の集合部組み立て時点で、O2 センサーを取り付けてください。



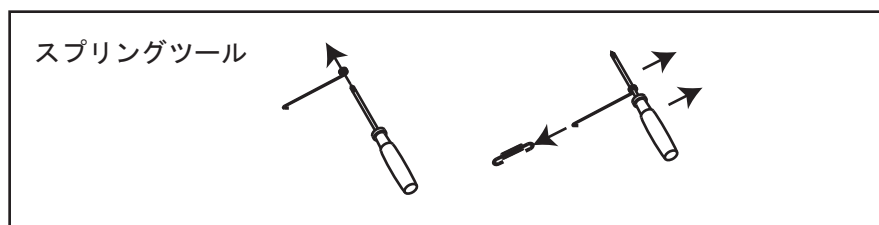
Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

【集合部(A)の取り付け】

- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。
- ①-③エキパイと②-④エキパイに集合部を差し込みます。
スプリング(4個)を取り付けます。

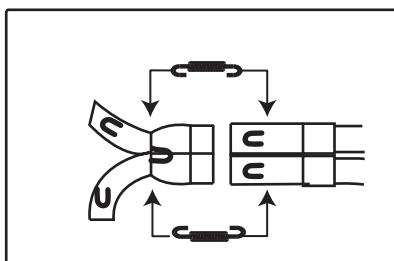


(HINT) 集合部のジョイント部分は高精度に出来てますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。



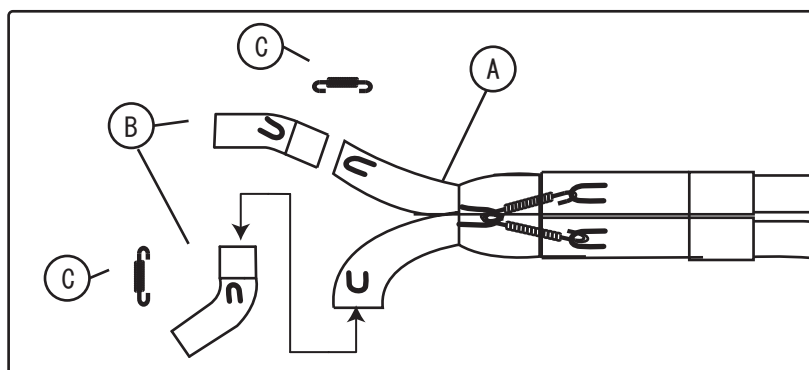
【集合部(B)の取り付け】

- 集合部 B を A と同様に取り付ける。



【テールパイプのR, L取り付け】

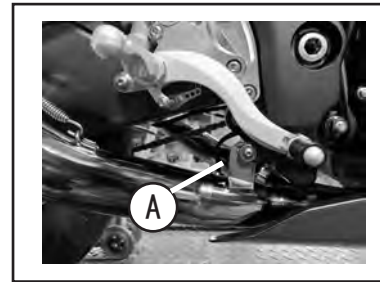
- 差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布します。
- テールパイプ (B) を集合部 (A) に差し込みます。
- スプリング (C) を取り付けます。



Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 3

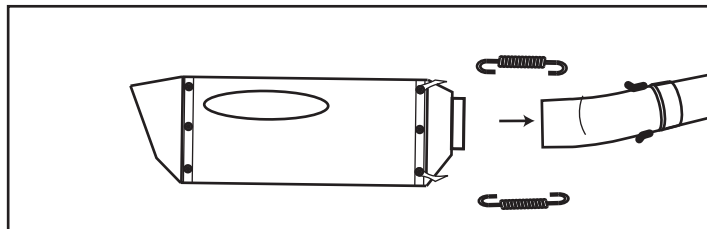
【テールパイプの取り付け】

- 取り外していたノーマル O2 センサーを
テールパイプ R に取り付けます。
- テールパイプ L を取り付けます。
- 2 本出しはテールパイプ R のステー (A) を
M6X20 丸キャップボルト、ワッシャー、ジヤミナットを使い
フレーム下部に取り付けます。
(2 本出しのみの作業となります)



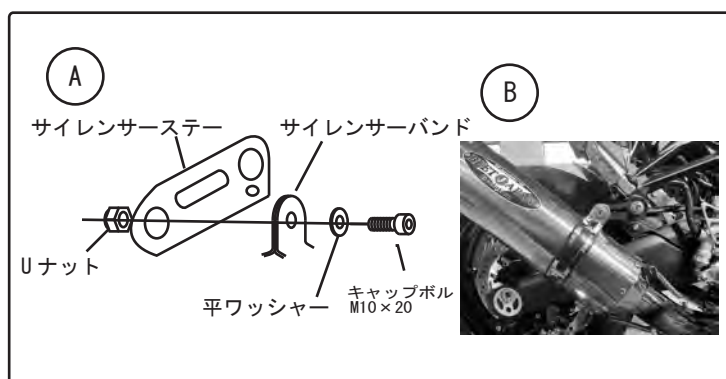
【サイレンサーの取り付け 1】

- サイレンサー、スプリングを取り付けます。



【サイレンサーの取り付け 2】

- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し
サイレンサーバンドを図 (A) のように取り付けます。



⚠ この時点で各パーツがフレーム等と干渉していないかチェックしクリアランスを調整します。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 4

【本締め】

次の順で本締めしていきます。

- ① エキパイフランジナット
- ② Evo サイレンサーステー
- ③ R側S字ステー
- ④ サイレンサーバンドとステー



- ① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

【02 センサー取付】

- パイプに当たらないように配線を通しカプラーを差し込んで下さい。

【R アンダーカウル用カラー】

- R側S字パイプとアンダーカウル後端が近い場合は
カウルとカウルステーの間に 付属のカラーφ6×φ20×4t を
入れて隙間を確保する。
- それでも近い場合は右写真の丸部のカウル後端カエシ部を削る。
- カウルとパイプが近いところに付属の遮熱シートを張り付ける。



標準締め付けトルク		
下表はねじ部の直径によって決まる標準締め付けトルクです。 値はいずれもパーツクリーナー等で洗浄した後の乾燥したねじ部に対するものです。		
ねじ部直径 (mm)	N・m	kgf・m
5	4.5	0.46
6	8.0	0.82
8	20	2.0
10	35	3.6
12	60	6.1

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。



油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。



エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。